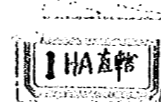


3. 第一方面軍直轄の部

第一課



基 号	所属	部隊固有名称	通称号	備成状況		位置		戦闘による損害の程度 現地離散及び離隊の状況	作業大隊		入ソ初期の収容階			入ソしなかつた者関連 大なる地点	留名 有照	軍事郵便所	摘要			
				備成地	備成年月日	平時 向被時	主要武装 解除地点		備成地	番号	地区	分所	人員							
4	IHA	第一方面軍司令部	演習 5 1448	杜 田 江	17 06 27	西原軍 東部(東部歩3補) 741()	杜田江 敷 化	敷 化	1 () % 風量の大部は現地に 解散 40	敷化	246	〇	タイセット	7分	390	約700	〇	20 05 21	同 新 7 5	勤務兵中原隊復帰若干 20.8.4-8.6 向独自114大要員 約500司令部に集合せしめた ので所屬判定上注意を要する。
			向島							25		ホルモリン	101分	300						
			敷化							将大		ラーダ	188分	20						
4	全上	第一方面軍軍法会議	演習 845			ノ方司									板					
4	全上	関東軍第一陸軍拘禁所	演習 857		17 06 27	関東軍司令部 東部軍司									板					
4	IHA	第122師団司令部	演習 462, 943 真鶴 12061	掖 河	20 04 30	四国境守備隊 東部6(東部歩3補) 195()	南湖頭	南湖頭	現地を日暮の大分は召集し たが又部隊に精入り 日600 集 400	杜田江	将大	ラーダ	117	8	約380	〇	20 04 30	8 9	編成時各隊より抽出して編成し た直轄中隊も入ソ人員に含んで 居る。	
			南湖頭				南湖頭	南島		味尾	タイセット	10	280							
4	IHA	歩兵 第265連隊	演習 414 真鶴 12062	掖 河	20 03 30	四国守一地区 11師団残置人員 東部6(東部歩3補) 3490(1000)	掖河	五道溝	現地を日暮の大分は召集し たが又部隊に精入り 日600 集 400	南島	286	〇	ホルモリン	205	750	約2500	〇	20 05 01	8 9	139D 9連撃 122挺大等へ の駆出着約1000あり
			南湖頭				南湖頭	〇		タイセット	5	60								
			掖河				東京城	〇		タイセット	カウマロ	775								
4	歩兵 第266連隊	演習 802 真鶴 12063	掖 河	20 04 30	11師団各隊残 東部38() 3157(1000)	掖河	五道溝	現地を日暮の大分は召集し たが又部隊に精入り 日600 集 400	南島	281	〇	ヒロヒヤン	8	980	約2500	〇	20 03 31	7 9	斐徳挺大122挺大131BS139D に5~600駆出着あり	
		南湖頭				南湖頭	〇		ホル	6	984									
		掖河				南湖頭	〇		タイセット	7	500									
5	歩兵 第267連隊	演習 121 真鶴 12064	掖 林	20 04 30	四口3地区 11師団用残置人員 東部64 3500(1100)	群林	五道溝	現地召集約1,100	南島	278	〇	ムリ	304 308	1,000	約1,800	〇	20 05 07	7 4 8	139D 131BS 133Bc 122挺 大 斐徳連撃隊に約1,000の駆 出着あり。	
		五道溝				南湖頭	〇		イヌベスト ユニフォーム	22	309									
6	第122師団 挺進大隊	真鶴 13923	掖 安	20 07 25	122D各隊の 抽出人員 東部83(東部歩2補) 1110()	華安	南湖頭	約50	南島	川崎	〇	タイセット	22挺	240	約900	板	7 4 3			
		南湖頭				南湖頭	〇		ルチキ	56 挺大	20									

0359

7	IHA 122D	野砲兵 第124連隊	満 眞鶴 12065 大佐 滝波幸助	奥 20 3 30	4口守砲兵隊 3口守砲兵隊 第3軍司令部 第12(東砲連隊) 1800(1000)	奥 陸 南湖頭 南湖頭 南湖頭	南湖頭 南湖頭 南湖頭	約 15 (約1%) 約 60	満 280 280	○ ナイセツト	5 7	1000 200		○ 敦 化 敦 順	20 0 4 0 1	7 0 1	
8		工 兵 第122連隊	満 眞鶴 12066 少佐 坂谷勇男	掖 20 3 30	第4師団工兵隊 東部14(東工補) 1100()	掖 河 南湖頭 石 河	南湖頭 南湖頭 南湖頭	約 5 (0.5%) 南湖頭にて 約500	杜 269 262 268	○ ナイセツト ○ ナイセツト	1 16 10	5 81 105 105		○ 南 湖 頭 ○ 東 京 城	20 0 4 0 1	7 1 5	
9		第122師団 通信隊	満 眞鶴 12067 少佐 蘇田喜代器	掖 20 3 30	電4連電17連 少43連歩44連 東部16(東通連補) 239(100)	掖 河 住南湖頭	南湖頭		満 中島	○ ナイセツト	10	100			20 0 4 0 1	7 1 5	
10		輜重兵 第122連隊	満 眞鶴 12068 少佐 田中剛一	杜 20 3 30	輜重1師団 輜重1師団 3軍司令部 東部17(東輜補) 1,200(250)	奥 陸 東京城 南湖頭	南湖頭 東京城 敦 化	約 9 (0.5%) 約 100	満 中島 妹尾 敦化 東京城	○ ナイセツト ○ ナイセツト ○ ナイセツト	10 4 2 3	200 200 140 100		○ 南 湖 頭 ○ 東 京 城 敦 化 掖 河	20 0 4 0 1	7 1 0	
11		第122師団 兵器勤務隊	満 眞鶴 12069 中尉 兼田連郎	杜 20 3 30	輜重1師団 第16野砲兵隊 第20野砲兵隊 東部17(東砲連補) 123	南湖頭 南湖頭	南湖頭 南湖頭	0 8名	満 川崎	○ ナイセツト	22 1	80			20 0 4 0 1	7 1 0	
12		第122師団 演習馬廠	満 眞鶴 12070 大尉 木下昇	掖 20 4 30	第3軍司令部 其の他 東部17(東砲連補) 113	南湖頭 南湖頭	東京城	0 若干	満 中島	○ ナイセツト	10	65			20 0 4 0 1	7 1 5	
13	IHA	第134師団 司令部	満 勾玉 25263 中將 井岡 初	佳 20 7 30	独立混成第28 旅団司令部 東北57(東砲連補) 328	佳木斯 大平山	方正	21 (約7%)	佳木斯 阿蘭 敦化 敦化	○ ナイセツト ○ ナイセツト	10 115 5	30 120 200				7 7 5	
14	IHA 134D	歩 兵 第365連隊	満 勾玉 25264 中佐 岩田勝清	佳 20 7 31	粗歩 573大 576大 577大 東北57(東砲連補) 2,800(600)	草皮満 佳木斯 佳木斯 依 蘭 方正	方正 依 蘭 方正	61 (31%) 約 500	佳木斯 阿蘭 依 蘭 香 藤	○ ナイセツト ○ ナイセツト	11 4 15 9	239 457 150 270		○ 土 城 子 依 蘭		7 7 5	1 佳木斯残留隊は依蘭にて戦艦 と交戦し損傷を受けた 2 20.8.9特務603隊員約1000 が同一区域に待伏して居る
15		歩 兵 歩366連隊	満 勾玉 25265 中佐 石山年秀	佳 20 7 31	14口守隊 粗歩574大隊 東北57(東砲連補) 2,800(700)	鶴 岡 大平山	方正 南 又 ハルビン	54 (25%) 約 500	方正 馬 場 敦 化 佳木斯	○ ナイセツト ○ ナイセツト	5 3 15 16	730 748 300 150		○ 風 河 北 婆 岡		7 7 5	主カは大平山にて陸地機中軍 大隊は鶴岡附近にて守備中 とシテ大隊は方正の主力に 合戦して中隊は湯原河津 にて高麗河を渡して入った

0360

番号	所属	部隊固有名称	通称号	編成状況	位置	戦闘による損害の程度	入ソ初期の収容所				入ソしなかつた者に因る重大なる地点	留名	備考		
							編成地	編成日	編成員	編成数					
16	IHA 134D	歩兵 歩367連隊	満 291 勾玉 25-266 大佐 東野 隆三	佳木斯 20.7.31 独立混成第266大隊 267大隊 268大隊 東北57(弘前師補) 2,800(300)	大隈勳密 方正 橋道河子 マフロン	189 (60%) 不明	佳木斯 村大隊 森大隊 大森大隊 北村	ハバロフスク ハバロフスク クレドール ハバロフスク	13 2 115 16	250 300 970 100	約 1700	仮	775	前線各同壕監視隊及偵察隊の 正主力五頂山等の守備隊は よソより空陸より敵の猛攻を 受け交戦激烈更に損害多大なり	
17	"	第134師団 挺進大隊	満 831 勾玉 25-268 大尉 石崎 進	佳木斯 20.7.31 密着隊 独立混成第267大隊 東北58(弘前師補) 991(なし)	佳木斯 方正 代馬	72 (7%) 不明	佳木斯 石崎	ハバロフスク "	4 19	200 10		仮	775	南戦後方正に何れも進出したが途中 中各行動隊天敵の攻撃を受け交 戦各行動隊毎に武断した。	
18	"	野砲兵 第134連隊	満 824 勾玉 25-229 少佐 渡辺 俊三	佳木斯 20.7.31 独立混成第267大隊 旅団砲兵隊 東北67(弘前師補) 2256	大隈勳密 方正 佳木斯	53 (2.5%) 生死不明 死亡 150名	佳木斯 橋本 渡辺 杉山	ニコライフスク トイフ ホル フレゾール	ビトギ トイフ 507 250	300 256 1000 250	約 1900	敬化 方正	仮	775	一部は367連隊に砲撃隊を連地 にて交戦戦中橋道河子にて土 曜と交戦四散した戦死傷大
19	"	工兵 第134連隊	満 733 勾玉 25-270 少佐 村田 興行	佳木斯 20.7.31 独立混成第267大隊 旅団砲兵隊 東北78(弘前師補) 606(200)	佳木斯 方正	31 (0.3%) 不明 (約200)	佳木斯 橋本 渡辺 杉山	フラジオエ ハバロフスク	20 15	370 280	約 650	仮	775	独立混成第267大隊は分散茶城に依り 在りて其のまゝ編成された一師 団にて367連と共に戦あり	
20	"	第134師団 通信隊	満 415 勾玉 25-271 大尉 石森 善教	佳木斯 20.7.31 独立混成第267大隊 旅団通信隊 東北79(弘前師補) 250	佳木斯 方正 ハルピン	1 高鉄関係者約20名 20.8.27日解	佳木斯 馬場大隊	ポートフニ ポートフニ	ビラ ビラ	6 6	約 200	仮	775		
21	"	騎馬兵 第134連隊	満 973 勾玉 25-272 少佐 森本 国治	佳木斯 20.7.30 独立混成第267大隊 旅団騎馬隊 東北64(弘前師補) 1000(200)	大隈勳密 方正 ハルピン 佳木斯	4中隊戦死 (0.9%) 方正にて逃亡20 依りて帰隊50	佳木斯 平ノ内 森大隊	ヒロヒヤン ハバロフスク	5 2	100 500	約 800	仮	775	4中隊江山頂上以下100は師団 命令で縦方軍を指揮しハルピン に前進途中橋道河子に於て敵 砲撃の被害を受け死傷は大破人員 は離散した。	
22	"	第134師団 兵器勤務隊	勾玉 25-273 大尉 太田 今朝次郎	佳木斯 20.7.31 107 師 71 師 134 師各隊 115()	佳木斯 方正	なし 不明	佳木斯 "	ニコライフスク トイフ	トイフ	100	約 100 14外	仮	775		
23	"	第134師団 騎馬隊	勾玉 25-277 中尉 塚田 晴夫	佳木斯 20.7.30 独立混成第267大隊 満洲 110	佳木斯 方正 佳木斯	なし 11名	佳木斯 杉山	フレゾール	553 8大	50	約 100	仮	775		

0361

24	IHA	第139師団司令部	不屈 37301 中將 菅永恭次	教化 20.7.10	112師団 滿洲 265	教化 教化	なし 不詳	教化 238 " 240 " 将大	0 0 0	ロスソフカ バルナウル ラーダ	6 2 188	18 45 20			板	387	
25	IHA	歩兵 第380連隊	不屈 37302 大佐 大沢航次郎	教化 20.7.10	128師団 124師団 122師団 滿洲 1850(1500)	蛟河 蛟河	7 約 1,000	教化 将大 " 232 " 2 " 2	0 0 0	ラーダ アムライスク ウスベツ	188 6 198大	60 16 10			板	387	122師団よりの転入者相当ある
26		歩兵 第381連隊	不屈 37303 大佐 片山啓吉	教化 20.7.10	112師団 124師団 122師団 滿洲 1850(1500)	秋梨溝 教化	4 鮮系及滿鉄関係の部隊除けるも其の数不詳	教化 1 " 246 " 237 " 236	0 0 0 0	ハレーチヤ タイセット ロストフカ バルナウル	188 7 1 2	20 520 972 200	約 1000		板	387	122師団よりの転入者相当ある
27		歩兵 第382連隊	不屈 37304 大佐 遠藤三郎	教化 20.7.30	79師団 127師団 122師団 滿洲 1850(1500)	大石頭 大石頭	5 不詳	教化 238 " 240 " 232 " 3	0 0 0 0	ロスソフカ バルナウル アムライスク タンクツト	6 2 6 1	975 730 8 1	約 1,800		板	387	122師団よりの転入者相当ある
28		第139師団挺進大隊	不屈 37305 大尉 林 麗武	教化 20.7.6	122師団 123師団 126師団 滿洲 1075(不明)	佳木斯 佳木斯	4 鮮系約50現地志願者約50部隊	海林 142 " 24 " 24 " 141	0 0 0 0	ライキバ キトマシカ ケルマ	1 18 212	30 4 700	約 800		板	775	124師団挺進と共に佳木スの同一兵舎にて編成
29		野砲兵 第139師団	不屈 37307 少佐 甲久保 岩松	教化 20.7.30	124A 滿洲 約928	教化 教化	不詳	教化 242 " 241 " 将大	0 0 0	91セット 91セット ラーダ	18 8 188	150 700 17	約 900		板	387	
30		工兵 第139連隊	不屈 37308 少佐 横沢鉄郎	教化 20.7.30	112師団 工兵隊 滿洲 615	教化 教化	不詳	教化 242 " 232 " 237 " 237	0 0 0 0	91セット アムライスク ロスソフカ ロスソフカ	18 6 1 1	500 1 1 1	約 503		板	387	
31		第139師団砲兵隊	不屈 37316 中尉 尾上 久	教化 20.7.10	112師団 123師団 126師団 滿洲 約150	教化 教化	ない 鮮系及在野者約50	教化 242 " 将大	0 0	91セット ラーダ	18 188	50 3	約 100		板	387	
32		騎重兵 第139連隊	不屈 37309 少佐 坂久岡鉄治郎	教化 20.7.30	122師団 127師団 滿洲 約970	教化 教化	ない 不詳	教化 231 " 242 " 249 " 243 " 将大	0 0 0 0 0	ロスソフカ 91セット 91セット ラーダ	3.4 18 13 10 188	15 200 250 250 7	約 900		板	387	
33		第139師団兵隊勤務隊	不屈 37310 大尉 加藤 善之助	教化 20.7.30	112師団 滿洲 130	教化 教化	ない 約 50	教化 242	0	91セット	18	15	80		板	387	

0362

番号	所属	部隊名	通称号	編成状況		位置	戦斗による損害の程度	作業大隊		入リ初期の収容所				入リしなかつた者肉連大なる地点	留有名無名	運送郵便所	摘要
				編成基幹部隊	補充部隊			編成地	番号	地区	分所	人員					
34	IHA 139D	第139師団 病馬隊	不屈 373/4 戦医中隊 芥原幸治	戦 20 7 30	112師 杜田江 新京 満洲 110(20)	敦化 敦化	なし 約100名	敦化 奉天	将大 41	ラーダ 77カク	188 327	5 2		坂	387	編成未完了のまま開戦となる	
35	IHA 直	関東軍 第二特別警備隊	鋭 37424 大佐 今井重次郎	佳 20 8 13	南 満洲 4491(2000)	下に全 佳木斯 杜田江 敦化	約102(0.2%) 約1500	海林 敦化 拉古 佳木斯	142 252 15 石崎	ライナハ タイセツ	1分 1分	120 16	約2500	坂		60-80兵營、匿名あり 佳木斯、東安、杜田江の各大隊 後退中戦斗しあり	
36		独立工兵 第12連隊	満22 鋭13000 大佐 南郎 薫	東 16 8 25	12師工18 中隊141(南工補) 1400	伊林 伊林(一部) 横道河子 (主カ)	約100(6.7%) 横道河子に於て第一中 隊員等約120名離隊	拉古 海林 敦化 蘭陽	61914 29 262 285	スワイエフ ワウナヤカ (ホール) イソバト	1→4 4.6 2 309	500 200 20 60	約1200	○ ○ ○	20 10 1	横道河子 敦化 横河 敦化	伊林戦隊約400名 124師工兵隊に編入小豆山にて 戦斗し損害大
37		榴 砲 第17連隊	鋭 7589 大佐 松原作治 少佐 西尾 慎	杜 17 9 7	電6 東部88(電1補) 1388	杜田江 敦化	12(0.86%) 此解隊地点に於て2中 隊19名離隊、現地自解状 料数16名	沙河沿 " "	252 " "	タイセツ " "	15K 2分	1045 36	約1200	○ ○	20 5 8	敦化	
38		独立自動車 第114大隊	鋭 1418 13081 大尉 湯浅正巳	杜 20 8 9	一方司 現召主体 満洲 780(500)	杜田江 杜田江 杜田江 北	5(1.5%) 現地は召着が多い 解散した中隊もある	沙河沿 " "	240 (248) 235	ロストフカ タイセツ アルタイ	1吸 50K 70820	240 200 200	約700	○ ○	7 1 5		編成未完了のまま戦斗行動に入り 各中隊分離していた 現地駐在の未教育者が多い現地 は召着は に集合して居る ので所置判定上注意を要する
39	IHA	深機材料 第29中隊	鋭 7102 中尉 杉山 興三	廣 16 7 7	工5 中国114(中国工補) 343(不詳)	佳木斯 佳木斯	約5名(1.1%) 佳木斯、依蘭間にて商 隊者多数(詳でない)	佳木斯 海林 佳木斯 松岡	石崎 138大 32 大家 4	ハハロスフ イルフッフ	19 3	60 50		○ ○	20 1 1		
40		全上 第32中隊	鋭 6416 中尉 山窪 焦一	佳 16 7 7	55 師 四国157(四国工補) 700(不詳)	佳木斯 佳木斯		佳木斯 方正 佳木斯	山崎 杉山 平野田 5	ハハロスフ プレートル ポトロー ピロピヤン	1 259 991 ビラ	257 50 26 267		○ ○	20 6 1		
41		第6師団 第21渡河材料中隊	鋭 9354 中尉 鬼丸 力	旅 13 9 7	工6 朝鮮65(朝鮮工補) 540(なし)	佳木斯 佳木斯 移 移	視察隊地 小豆山離地 北村自陸血 808 (115%)	拉古 佳木斯 " "	6.17 5 4	ウスリー ピロピヤン " "	557 ビラ 150	164 20 3		○ ○	19 12 21		視察隊隊員557名交戦 未離隊者顔面不明のものか 多い主力ヒル隊隊員区分不明 確にして開戦時の位置を決定す る事が個人究明上肝要である

0363

42	IHA	水上勲秀 第42中隊	銃 4012 中尉 中山基七郎	和歌山	16.7.16 少佐	北湖頭 北湖頭 (桂木斯)	戦病死 実数は詳でない	鹿嶋 海林 佳木斯	14 144 杉山	ダイセット クレドール レニスキー	5 105	300 1		後河	20.1.1 0.1.1 0.1.1	小部隊の割合に死亡者多し (終戦後戦病死) 燃費料着が多いが転出の公算大 全鏡泊湖向に亘つてノズロの 糧探兵器資材の輸送に任じた
43		第16(甲) 野戦兵器隊	銃 2633 93000 少佐 友田昌雄	和歌山	15.7.16 中尉	北湖頭 各駐屯地 に屯隊	6 教団群でないが 相当多数あつた	敦化 海林	255 230 239 115	ダイセット " " " " " "	1分 13分 11分 9分	100 230 350 150	約 1700		20.1.1 0.1.1 0.1.1	
44		第25(甲) 野戦自動車隊	銃 9831 91000 少佐 日石秀吉	群馬	17.2.24 中尉	北湖頭 敦化	2 約7~800名敦化で現 地召解	敦化 海林 拉石	236 248 4 10	バルナクル ダイセット ウオロソフ ラソ	2分 22 55分 55分	250 280 90 11		後河 沙河沿	19.12.25 0.12.25	死推へ河東残留隊 石頭支広損害軽減
45		第25(甲) 野戦資物隊	銃 9832 92000 主計中佐 河田和夫	群馬	17.2.24 中尉	北湖頭 敦化	3 敦化把握 来よい	敦化 海林 敦化	247 242 143 274	ダイセット " " イソベスト ラーフ	8分 18分 202分 202分	971 77 50 9	約 1200	敦化 石頭 大石	20.1.1 0.1.1 0.1.1	女子隊員が相当数居つた事は確 実だが隊除隊者が多い把握で きない 20.4~20.6前転出者相当あり現 在の燃費料着の大部分は転出の公 算大なり
46		第二 野戦補充高隊	銃 457 13029 2653 少佐 高瀬 眞	群馬	16.7.16 中尉	北湖頭 敦化に何 い前進中	戦死3名 (1%) 相当多いと思はれるが 其の数は詳でない	東京 海林	270 271	コンソリス " "	市内 市内	200 一部			20.1.1 0.1.1 0.1.1	主力が重傷 軽人 1 蒙古人 30名 入ソ後の事故者多い
47		特設警備 第655大隊	銃 3165 中佐 沖 久吉	群馬	20.8.11 中尉	北湖頭 敦化	戦 2 (0.5%)	拉石	557 男大	0	ウスリー	557 655		群馬江拉石	20.7.15 0.7.15 0.7.15	南戦后103營司にて編成した 豊洲部隊及ニ特選三大と所属混 同し易い
48		全上 第603大隊	銃 1253 大佐 西村眞正	佳木斯	20.8.10 中尉	佳木斯 佳木斯	3名 (0.7%)	佳木斯 佳木斯	佳木斯 佳木斯	0	5分10分 13分	800 50	約 1000	佳木斯 佳木斯	20.7.15 0.7.15 0.7.15	南戦后365連の兵舎にて編成 2656及松花部隊と所属混同し 易し
49		全上 第605大隊	演 629 銃 2605 中佐 米沢喜三郎	高島	20.8.15 中尉	高島 高島	なし 20.8.16 編成し 翌20.8.17 解散	高島 高島	高島 高島	0	ウスリー	188 250		延吉	20.6.2 0.6.2 0.6.2	
50		東安第(24) 陸軍病院	演 148 銃 21081 軍医大佐 笹川武藏	東安	15.7.10 中尉	東安 東安 (大石頭)	15 横道河子附近の線 突破の際部隊は解散す	敦化 海林	236 146	バルナクル ライチハ	2 4	250 30	300	群馬江 吉林	20.1.1 0.1.1 0.1.1	衛生教育介費初年兵約200名あ り先遣隊約50名と共に移駐予 定地大石頭に於て病院建設準備中
51		東安第(71) 陸軍病院	演 384 銃 13016 軍医中佐 河野通豊	全上	18.7.15 中尉	東安 東安		海林	146 153	ライチハ ハルピン	4 10	30 10	50		19.8.21 0.8.21 0.8.21	

0364

隊	所	隊名	通称号	編成状況		位置		戦闘による損害の程度	作業大隊		入ソ初期の収容所			入ソしなかつた者に因りて大なる地点	留有名無	重傷者数	備考
				編成日	編成地	平時	主要武装		編成地	番号	地区	分所	人員				
52	HA	唐山陸軍病院	満 28 鋭 13085	唐山	編成基幹部隊 補充担任部隊 充て人員(現地兵)	唐山	主要武装 解除地点	なし							20	829	
53		宝東(72)陸軍病院	満 492 鋭 13017	宝東	中国軍工補	宝東	解除地点	なし	教化	255	タイシエット	1			20	875	
54		斐徳(69)陸軍病院	満 348 鋭 13014	斐徳	中国軍工補	斐徳	解除地点	なし							20	857	
55		林口(25)陸軍病院	満 588 鋭 21082	林口	中国軍工補	林口	解除地点	なし	向島	24	ホルモリン	216	300		20	831	後送途中の患者に相当損耗あり
56		勃利(78)陸軍病院	満 233 鋭 13018	勃利	中国軍工補	勃利	解除地点	7	教化	236	バルナウル	2	70		20	871	HA全軍より衛生下士官要員約200名集合教育中同戦後全員減級降格せしむ
57		綏芬河(76)陸軍病院	満 61 鋭 13015	綏芬河	中国軍工補	綏芬河	解除地点	無	海林	151	49	519	4	100	20	894	
58		二道崗(77)陸軍病院	満 220 鋭 13020	二道崗	中国軍工補	二道崗	解除地点	46 (50%)					10		20	820	終戦後教化に於て管原病院の基幹要員となる 主力は穆稜峠にて玉碎
59		翠安(62)陸軍病院	満 10 鋭 13022	翠安	中国軍工補	翠安	解除地点	なし	八里江	4	イズベスト	309	40	70	20	77	終戦後蘭州作大、八里江作大の患者収に当り投河陸新の基幹要員となる
60		敦化(60)陸軍病院	満 961 鋭 13022	敦化	中国軍工補	敦化	解除地点	なし	投河	3	クレント	175	中		20	387	

0365

61	IHA 直	駐丹江第一(8) 陸軍病院	満 664 鋭 13011	駐 丹 江	15 7 10	東京二病	駐丹江 (海林) (橋河)	柳道子	なし	駐副 加藤	スバスク	535 号大	100	謝家清	20 1 1	77 06 42	因ハ病院の基幹要員と見る
62		佳木斯第一(38) 陸軍病院	満 291 鋭 13012	ハ ル ビ ン	15 7 10	東京二病	佳木斯 佳木斯	方正	なし	佳木斯 杉山 濱岡 濂原 大塚	ピ ラ ビ ロ ビ ン ハ バ ロ フ ス ク イ ズ マ ス ト	135 号大 5 15 115	300		20 1 1	77 06 42	
63		佳木斯第二(90) 陸軍病院	満 696 鋭 13021	佳 木 斯	17 11 20	中国104(中国歩一補)	佳木斯 大鳳朝霞	方正	なし	佳木斯 木村	ハ バ ロ フ ス ク	18		佳木斯	20 1 1	77 06 42	朝鮮方正で煙者収容に当り 20.9.19 患者を佳木斯に於て興 山陸病に托し入ッす
64		興山(91) 陸軍病院	満 931 鋭 13023	興 山	17 11 20	中国104(中国歩一補)	興山 鶴岡	方正	なし	佳木斯 木村	ハ バ ロ フ ス ク	18		佳木斯	20 1 1	8 9 1	朝鮮方正で佳木斯二陸の援助
65		富錦(92) 陸軍病院	満 120 鋭 13024	富 錦	15 7 10	中国104(中国歩一補)	富錦 富錦	蛟河	なし	敦化 236	ハ ル ナ ウ ル ス			蛟河	20 1 1	7 8 3	
66		松花部隊	ナシ (中佐 荻井太郎) (大尉 藤原景)	佳 木 斯	20 8 13	中国2特務才5大隊 (佳木斯特務機関) 2000(2000)	佳木斯 佳木斯	方正	6 方正陣地にて関係者 約1000	方正 餘化 石塘 片山 大隊	ハ バ ロ フ ス ク ア バ カ ン	15 号 ウ ス リ	1000	佳木斯 駐丹江 林口 利			二特務要員にして応召せる在御 軍人(才解系)の佳木斯に集合 せる者佳木斯特務にて同時に編 成せるもの 近式の訓練受まし

0366